

「ロス対策士」検定 事前セミナー開催

JEAS

日本万引防止システム協会（JEAS・東京都新宿区、稲本義範会長）は12月13日、「ロス対策士受験対策一か月前セミナー」をリモートで開催した。

同セミナーは2022年1月13日に予定されている「第3回ロス対策士検定試験」の受験者を対象に事前講習を実施したもの。JEAS副会長の近江元氏が講師を務め、ロス・プリベン

ション（損失を防ぐこと）を包括的なテーマとして約2時間の講義を行った。

講義は保安警備に関する知識のほか、小売業の概要やロス額の計算方法、ロスの原因と対策、従業員の教育、防犯機器・システムなど多岐にわたった。

「ロス対策士検定試験制度」は21年7月にスタートしたJEASの認定事業で、小売業におけるロス（損失）対策に向けての知識と技術を学ぶことが目的。これまで21年7月、10月の2回の試験で268人の「ロス対策士」が誕生している。